

社会福祉法人群星福社会豊崎保育園

令和5年度事業計画

はじめに

大空を見上げると、誰にでも等しく輝き降り注ぐ星々、太古より人類を癒し続けてきた星々……達人や名人を世間の人々は「スター」とよぶ。人の人間性は、幼児期にほぼその礎が決まると言われている。そんな大事な幼児期に「親」「親戚」の方々の大事なお子さん達の子育て支援ができることを最大の喜びとし、本園を巣立っていく園児達がみな「光り輝く」人生を歩むと同時に、お互いの個性を生かしながら「均衡を保つ」星の集団「群星」のようになって欲しいとの思いで社会福祉法人に命名した。

◎令和5年度の重点目標

- ・保育の質の向上 ⇒CS（園児の満足度） / ES（職員の満足度）
- ・園内研修の充実を図る
 - マネジメント研修 年間3回 ・新入職員研修 年間9回
 - 計画的な分野別研修 月1回
 - 園内保育研究発表 ⇒ テーマを定め、年間を通してクラスごとの年間計画に沿って期毎の話合いを持ち、PDCAを行いながら最終的にまとめらるよう取組んでいく。
各クラス年に1回は、保育の様子をビデオ撮影し担当が客観的に保育の様子を見て振り返る機会を持つ。
- 0歳児…アタッチメント（愛着関係を気付く）「すきすき」⇒探索活動へ「あんよがじょうず」
- 1歳児…担当制保育と噛みつきを防ぐために「きかせて きかせて」
- 2歳児…生活習慣の確立「すごいね」
- 3歳児…友達との関り「できたね」「わたしは すごい。」
- 4歳児…友達との共通の楽しさを味わう「よく考えたね」「さすがぞうくみさん」
- 5歳児…自己決定する力「年長児の自覚」「生きる力」

保育目標

- 心身ともに健康で情緒の安定した子
- 友達を大切にし、友達の中で育つ子
- 自分を主張できる子

保育内容

- ・出来ることを増やし、年齢にふさわしい自信と誇りを持つ保育
- ・仲間と楽しさ、喜び、感動を共感する保育（地域文化・伝統行事・表現活動等）
- ・食育の深まりに努め、子どもの未来の健康づくりの保育
- ・乳幼児天野式リトミックでのリズム教育
- ・異文化交流事業

保育方針

- ・家庭的な雰囲気の中で、情緒の安定を図り身体づくりに努める。
- ・一人ひとりを大事にする保育に努め、個々の育ちを支援する。

保育理念

- ・個々の自立支援
- ・個々の自律支援
- ・共育ち支援

保育時間

通常保育認定 午前7時00分から午後6時00分まで
延長保育 午後6時00分から午後7時00分まで
短時間保育認定 午前8時30分から午後4時30分まで

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	必要保育士数	定員	現数	備考
ひよこ	0歳	3	15	9	にじのほし
りす	1歳	5	30	30	にじのほし
うさぎ	2歳	6	35	35	本園
ぱんだ	3歳	2	35	29	本園
ぞう	4歳	2	34	34	本園
ほし	5歳	1	20	18	分園
フリー		7 (分園5名・本園2名)			
合計		26	169	155	

*現数は、4月1日時点予定人数

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 292日
24	24	25	25	26	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	25	

ウ 健康管理

健康診断

乳児 年2回
幼児 年2回
歯科検診 年2回
蟯虫卵検査 年2回

エ 園児保険

- ・災害共済給付（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

オ 保 育

各組の保育目標（本園・分園・にじのほし 共通）

ひよこ組（乳歳児）の年間目標

- ・ 保育者との親密なかかわりを基礎に安定した人間関係が芽生える。
- ・ 落ち着いた雰囲気の中で情緒を安定させ、歩行をめざし、いろいろな運動を楽しむ。
- ・ 言葉以前の様々なサインをしっかり受け止めることができ、自己表現が活発になる。

りす組（1歳児）の年間目標

- ・ 自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣（特に排尿）を身につける。
- ・ 保育者に親しみ、感情を素直に交流して機嫌良くすごす。また、友達にも関心を示す。

うさぎ組（2歳児）の年間目標

- ・ 基本的な生活習慣（特に排便）を身につけ、自分に自信を持つ。
- ・ いろいろな経験を通して、いろいろな言葉を習得し、言葉で表現しようとする。
- ・ いろいろな運動遊びを通して、運動機能の発達を図る。

ぱんだ組（3歳児）の年間目標

- ・ 基本的な習慣を身につけ、自信を持ち、何でも挑戦する。
- ・ いろいろな行事を体験し、園生活の楽しさを知る。
- ・ 友達との関わりを基礎に、自分を主張しようとする。

ぞう組（4歳児）の年間目標

- ・ 園生活の中で自分のよさに気付き、自分らしさを発揮する。
- ・ いろいろな活動を通して友達や保育者との関わりを深めて楽しく遊ぶ。
- ・ 友達のよさを認め合いながら個々の力を十分発揮する。

ほし組（5歳児）の年間目標

- ・ 身辺自立や望ましい生活習慣を付ける（生活する力）
- ・ 友達と関わりながら、自己発揮し共に生活を楽しむ（関わる力）
- ・ 興味関心や意欲・能力を発揮する（学ぶ力）
- ・ 運動する事や挑戦することを楽しむ（運動する力）
- ・ メロディー（旋律）・リズム（拍子）ハーモニー（和音）を体で表現して楽しむ

カ 主な行事 別紙参照

地域活動事業（2回）

キ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年 1回 (7月)

栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成

火・木 自家製ヨーグルト

季節の素材を積極的に取り入れ、沖縄行事食・嗜好に富んだ献立を作成

給食供給業者 (日清医療食品)

ク 安全管理

年1回の大掃除

クーラー・換気扇の除菌清掃 (業者委託年1回)

交通安全教育 (年1回)

非常災害時の避難訓練 (毎月1回)

初期消火実施訓練 (毎月)

不審者対策訓練 (年1回)

(2) 職員の処遇

ア 職員構成 (令和5年4月1日現在)

園長	1	名
副園長	1	名
主任保育士	1	名
副主任保育士	5	名
保育士	20	名
保育補助	5	名
事務員	1	名
管理栄養士	1	名 (日清医療食品)
調理師	5	名 (日清医療食品)
嘱託医	2	名 (非常勤)

イ 健康管理

健康診断 年 1回 (7月~2月)

便検査 給食担当毎月1回 乳児担当保育士毎月1回

ウ 職員会議

定例会 毎月 1回

行事前打合せ会 (随時)

期別反省会 (年2回)

エ 研修計画

園内研修の充実（月 1 回）

外部研修（随時）保育士年 2 回 令和 5 年度 web 研修併用の可能性あり

オ 退職・福利厚生

福祉医療機構退職共済制度加入

社会福祉施設従事者相互保険（財団法人福祉振興・試験センター）

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・チャイルド社会計ソフトチャッピーで新会計事務処理を行い、月次試算・報告等を毎月理事長に報告

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・3歳未満児は毎月児童票に園児の健康管理や保育の効果等を記入する。
- ・3歳以上児は年 4 回（3 ヶ月ごと）児童票に園児の健康管理や保育の効果等を記入する。
- ・コドモンシステムでの、園児（身長・体重）成長記録
（給食定期栄養報告時の記録）

ウ 3歳児以上幼児教育無償化に伴う給食費徴収事務

- ・コドモンシステムによる登園・降園時間の打刻管理。
（延長保育料請求・給食費徴収時間管理を行うとともにリウコムへのデータ送信業務一連）

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

- ・固定遊具設備点検表の記入を行い安全に気をつける。

イ 保育室の整備点検

- ・各クラスの「危ない箇所点検」を行い、安全に心がける。

ウ 早番・遅番の園内外点検

- ・園内外の安全チェックを行う。
- ・コロナウイルス感染防止のための消毒強化
（扉・ドアを含む各出入口、手すり、電話、パソコン等 1 日 2 回）

エ にじのほし保育園

- ・園庭への日除け設置

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月 1 回

- * 広域大地震津波警報避難訓練（年 1 回）

避難場所

豊崎保育園本園・分園：豊崎小学校屋上、 にじのほし保育園：ミオビエント豊崎

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常災害用品

○豊崎保育園

- ・乾パン…2枚入り×128個
- ・ビスケット…2枚入り×160個
- ・白粥…100食
- ・飲料水…20×36本
- ・非常食カレー…40食
- ・オムツ（ビッグサイズ）…1パック
- ・毛布…12枚
- ・タオルケット…3枚
- ・カセットコンロ…1台
- ・カセットガス…3本
- ・やかん…1個
- ・救急箱…1セット
- ・LEDソーラーランタン…7個
- ・LEDライト（電池・電球交換不要）…2本

○にじのほし保育園

- ・非常災害持ち出し用乳児セット…2セット
- ・飲料水…20×6本
- ・ミルクキューブ…16袋×2箱
- ・ビスコ…30枚×10缶
- ・オムツ（Lサイズ）…50枚
- ・LEDソーラーランタン…5個
- ・LEDライト（電池・電球交換不要）…1本

（5）園経営に関する事項

県指導監査

3 保護者との連携

- ・年度初めに重要事項説明を行い理解してもらう。
- ・保護者との連携を強化するために、各クラスの保育参観と保護者会を行う。
保護者会を開き交流を持つことにより、年齢ごとの保育の目標と発達のポイントを保護者へ伝える機会を持つ。
- ・同年齢のお子さんのいる保護者同士の連携の場を持ち、保育士が間に入り交流を持つ中での子育て相談。

4 地域社会との連携

- ・地域子育て情報を発信する拠点施設とし、また次代を担う子ども達の健やかな成長を支える交流施設として、地域活動事業の実施予定（夕涼み会・観劇 等）・・・年2回実施予定
- ・地域の・小学校・中学校での子供たちを対象に、保育園生との交流をすることで、居場所を提供する。（無料で保育・食事提供）
- ・高校生、専門学校生、大学生等のボランティア受入れをすることで、保育の楽しさ良さを若い世代に伝える。保育士への興味を持たせられるよう取り組む。